植田っ子

令和５年度
学校便り NO.１０　２月号
高松市立植田小学校
令和６年１月３１日発行

植田のよさに学ぶ！ＰＡＲＴ２

３年生は社会科で「農家の仕事の工夫を調べよう」という学習を行いました。その際、地域の農家の方から、ブロッコリー作りの工夫を教えていただきました。紹介します。

９月８日（火）に、高松市農林水産課の方より、高松市の農業の特徴を聞きました。ブロッコリーが、全国２位の生産量であることや、高松ごじまん給食のブロッコリーを、植田校区の農家の方が作っていることを知りました。

そこで、自分たちも作ってみようと、学校の教材園にブロッコリーを植えました。野菜の先生から土づくりや苗植えのコツを教えていただきました。

９月１４日（木）には、農家の人はどのように世話をしているのかを調べるために、「まるまる農園」に見学に行きました。とても広い農園で、作業の仕方や注意点などを教えていただきました。また、実際に苗植えの体験もできました。

１０月には、ブロッコリー作りの工夫を農園の方より学びました。

① 土づくり…竹の堆肥を混ぜている。
② 植え方　…１週間ずつずらして苗を植えている。
③ 世話　　…毎日１本ずつ病気や虫がいないか確認している。
④ 水やり　…天気予報を確認しながら行っている。
⑤ 収穫　　…朝５時より収穫している。時期によっては１日中収穫をしているときもある。

児童は、ブロッコリー作りの工夫を進んで調べ、映像にまとめました。まとめた映像をＤＶＤにして、１１月に高松市内の全小学校に配布しました。配布先の小学校より、「とてもいい取組ですね」と称賛を受けました。植田のよさを広めることができて、児童はとても喜んでいました。児童は、地域のよさについて多くのことを学んでいます。また、学ぶことの楽しさも感じています。

大変ありがたいことだと感謝しています。